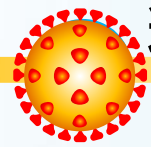
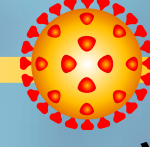


避難指示・避難行動



避難所の開設



避難者の受付

■ 多様な避難と広域避難※1

- 土砂災害警戒区域や大河川付近は屋内避難は危険だが、体調不良者は**在宅避難**でも良いのか？
- **在宅避難、車中避難**などが考えられるが、避難方法自体への理解が少なく、事前準備できているか？
- 内閣府、厚労省の通達で、避難所への集中を防ぐため、**友人宅への避難**を勧めているが、住民がどの程度理解し、準備しているのか？
- **体調不良者**であっても危険なら自宅を離れ避難すべきではないか？
- 水害の場合、**避難ルートとして地域のアンダーパスや浸水深**などの理解の促進も必要だが、どの程度、理解が浸透しているか？
- **広域避難（市町村や他府県を越える移動）**は感染拡大を考えると非現実的ではないか？

■ 避難の呼びかけ方法

- 「出来るだけ早く避難して」と呼びかければ、**不要な人が多く避難**する可能性はないだろうか？
- 「不必要（不要・不急）な人は避難をしないで」と呼びかけた場合、**避難せず自宅が被災し死傷者が増える**可能性があるのではないか？
- **感染を恐れて危険地域にいながら避難しない人**がいた場合、どのように呼びかけたら良いのか？
- マスコミ報道に煽られ、感染症拡大期の現状で、**そもそも避難所に避難するのだろうか？**
- 水害時のタイムラインを策定しているところが多いが、感染症の場合には、避難所の場所を情報発信する**時間的余裕が必要**ではないか？

■ 要支援者

- 何よりも避難は最優先だが、要支援者の避難には支援者が必要であり、**避難時に感染するリスク**があるのではないか？
- 可能であれば、保健所と浸水区域、土砂災害警戒区域などで在宅療養している**感染者の情報**をリアルタイムで共有する仕組みがほしいが、個人情報保護の問題はないだろうか？



ジレンマの解決案、他にも考えられるジレンマがある場合には、以下に追記して頂けると幸いです。

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1cm-LqqigQRtZyEtWtRpdqDQtmPDpSjrg7MFAz7gRREv/o/edit#gid=0>

■ 避難所の開錠と安全確認

- 小学校を避難所として開設する場合、**小学校が休校中で鍵がない**。休校により施設管理者がいない場合にはどのように開錠するか？
- 近隣の避難所運営者や自主防災組織の複数の人が鍵を預かっているケースが多いが、**開錠する人の安全配慮**はどうするか？
- **避難所の安全性**は、誰がどのように把握したらよいか？

■ 避難所の増設

- ゲリラ豪雨による土砂災害など突発的な災害では、住民に対し**増設した避難場所・避難所の場所・避難経路等を事前に周知徹底**することが必要であるが、短期間で周知できるのか？
- 3密を防ぐために避難所を増設する場合、**増設の選定基準**（耐震性、浸水区域・土砂災害警戒区域外、WiFi等）の設定は？
- 避難所を増設した場合の、**物資の運搬や供給などの運営**はどのように行い、**運営する人の安全配慮**はどのように確保するか？
- **要支援者に対応できる避難所の増設**が困難な場合には、どのように対応したらよいか？
- 新た選定する避難施設の施設管理者、施設保有者との使用方法、業務内容の取り決めが必要（協定）であり、**費用負担（災害救助法の適用は？）**についてもどこまで事前に決定すればよいか？
- 新たに開設する避難施設は、**使用後の消毒の取り決め**も必要であり、消毒業者への連絡するなど、災害救助法で支援してもらえるか？

■ ホテルなどの活用

- ホテル等居住性の高い施設を避難所として活用した場合、避難者が集中する可能性があるが、**どのように受け入れを管理**したらよいか？
- 軽症者はホテルで療養させることになっているが、実際は法的強制力がなく、自宅療養を選ぶ人も多いという報告があり、**軽症者への対応**は、どのように対応したらよいか？

■ 職員の参集

- **職員および職員の家族が感染者**である場合、避難所に派遣される予定となっている職員は自宅待機で良いだろうか？
- 避難所に派遣される予定となっている職員には、事前にどの程度、**感染症の予防のための備品**を持たせればよいか？
- 避難所対応した職員がコロナに感染した場合、**保険の対象**になるか？

■ 避難所の受付と避難者情報

- 避難所の受付において、避難者の体調確認は、手間がかかり、人が集まるため感染リスクが高いが、**誰が受付を行うのか？** その場合の、対応者の安全管理はどのようにしたら良いのか？
- **非接触型の受付方法や案内方法**もあるが、その使用方法をどのように周知し、研修をしたらよいか？
- **避難者名簿**には、感染症に関する状況をどのように記載し、情報共有したらよいか？
- 水害時はタオルや雑巾が大量に必要。感染が疑われる人が使用したタオルは使い捨てが原則になるが、そこまで備蓄は多くない。非常持出袋の中身が濡れないようにする工夫やタオルを持参するなどの**啓発**も必要。
- 避難行動要支援者名簿の管理者がコロナの影響で対応できない場合、その**名簿の共有や他の人が対応**することはどこまで可能なのか？

■ 避難者の割り振りと移動

- コロナ感染者、非感染者、PCR検査結果待ち、濃厚接触者など避難が想定される**対象者ごとに避難所・避難施設の割り振り**が必要だが、その状況の確認方法と割り振り方法はどのようにしたら良いのか？
- コロナによる社会的影響の推移、政府の対応方針の変更など、**状況に合わせて逐次、避難所の選定や見直しが必要**となるが、臨機応変に対応するために、何を準備しておけばよいか？
- 一度入った避難所から**他の避難所への移動**は危険ではないか？
- 感染状況により避難者を振り分ける場合、**遠い距離にある避難所に移動させる場合、移動手段はどのように確保**したらよいか？

災害対応では、様々なジレンマ（何かを選択すれば、何かを失う）が生じます。特に、コロナウイルス流行下の避難・避難所運営については、ジレンマの繰り返しです。

正解のない避難・避難所運営について、どのようなことを戸惑い、判断に迷うのかをまとめた、ジレンマ集を作成しました。この内容は、効果的な応援・支援に向けた災害対応の標準化研究会「BOSS研」に参加された行政職員の疑問や意見を踏まえ、災害対応業務プロセスの観点でまとめたものです。

「避難・避難所とコロナ」のダブルパンチに対し、地域や自治体における事前準備に少しでもお役に立てるように願っています。ご自由に利用ください。A3の両面で印刷してください。

避難所の運営

■ 避難所の運営体制の確保

- 避難所の運営職員が不足した場合、感染リスクを考慮し、どのように応援職員やボランティアを避難所に派遣したらよいか？
- コロナの感染リスクを考え、運営に非協力的である場合、どこまで住民に避難所運営を任せたらよいか？
- 住民主体で避難所運営を準備している場合、担い手の多くは高齢者であり、感染や重症化リスクが高いため、どこまで任せられるか？
- 対象とする避難者（軽症者、疑症者、濃厚接触者、非感染者）の区分に応じて、対応する人員の確保がどこまで必要になるか？

■ 避難者のゾーニング

- 感染者、非感染者、PCR検査結果待ち、濃厚接触者など、区分別に避難所を設定しても、避難後に発生する体調不良者、疑感染者とのゾーン区分、動線区分をどのように設定したらよいか？
- 3密をさける収容スペースの弊害がある。避難者があふれた場合には、間隔を狭くしてまで受け入れたほうがよいのか（＝感染リスクを考え、避難所の受け入れを断ることは現実的か）？
- 間仕切りをすると、風通しが悪く、換気ができないのではないか？
- 隔離部屋を使い、未発症者との区別をどの程度確保したらよいか？

■ 避難所外避難者への対応

- 指定避難所以外の避難者に対し、どの程度の支援をしたらよいか？

■ 感染症予防活動

- 地震や水害で断水した場合、手洗いはどのようにしたらよいか？
- マスクが不足した場合、誰を優先にマスクを配布するか？（医療従事者、避難所運営者、体調不良者）
- 避難者にマスク持参を原則としたいが、周知をどうしたらよいか？
- 避難所運営者に対して、マスクや防護服の正しいつけ方、外し方を教育し、感染拡大を防止する必要がある。
- 感染が疑われる避難者に接触しなければならない人を誰に指定（行政、住民、ボランティアなど）したらよいか？
- 体温計による健康チェックはどのようにルール化するとよいか？
- 非接触型の体温計がなければ、アルコール消毒を徹底し、体温計を使うことになる。
- 濃厚接触者や疑感染者の収容スペースの運営者は、どのように決めたらよいか？
- 非接触型の掃除におそうじロボットが活用できるが、災害救助法で支援されるか？

※ソーシャルディスタンス：避難者間の一定距離

■ ゴミの管理

- マスク、ペーパータオルなど、汚染ゴミの正しい捨て方の啓発が必要。
- ゴミの管理（ふたつきのゴミ箱）、保管場所の設定が必要。
- 感染ゴミの処理業者との連絡、調整も事前に行い、災害救助法で支援してもらうように準備が必要。

■ トイレ・食事・睡眠の確保

- 共同でトイレを使用すると感染の拡大が懸念されるが、感染が疑われる避難者と非感染者のトイレを区分するために十分な数のトイレは確保できるだろうか？
- 栄養を考え、免疫力を高める食事の提供は可能なのか？
- 食事の配布は、避難者が自ら支給場所に取りに来るのか、運営者が配布するのか、どちらがよいか？誰が避難者に配布するか？
- ダンボールベッドの組み立ては避難者に任せられるのか？
- 使用済みのダンボールベッドにコロナが付着している場合もあるが、その場合の片付けは誰が行い、どのように廃棄したらよいか？

■ 避難者のプライバシーと安全確保

- 更衣室によるプライバシーを確保した場合、更衣室が密閉空間になるので、その場合の感染リスクの低減方法は？
- 避難者との距離を置くと、寄り添うことが出来ず精神保健上の問題（暴力、性犯罪など）が生じるが、どこまで寄り添えるか？

■ 衛生的な環境の維持

- 雨風が強く、冬場では寒く、夏場は暑く、どのように季節や天候を考慮して換気をするか？
- 換気に伴う室内温度の低下と毛布など、保温具在庫が十分に確保できているだろうか？

■ 感染症の発生時の対応

- 体調不良者を隔離するための別室が足りなくなった場合の対応は？
- 隔離に応じない避難者を、どのように説得したらよいか？
- 隔離が差別になると指摘された場合、どのように回答したらよいか？
- 濃厚接触者を定義しないと、濃厚接触者として隔離できない？
- 避難者が体調不良となっても、言い出しにくく感染が拡大しないか？
- 体調不良者の看病は誰が行うか？（家族は別になる？）
- 体調が改善した場合、通常の避難者と同じ場所に戻すのか否か？
- 避難者の中から感染者がでた場合、その手続き、搬送、消毒のプロセスやルールは誰が、どのように決めるか？
- インフルエンザやノロウイルスなどコロナだけではないことを事前に周知。

避難所の集約・閉鎖

- 感染者のみが避難者として残った場合、どこに移動するか？
- 避難所として利用した施設を、消毒後、使用開始するまでの期間は？

■ 避難者の健康管理・心のケア

- ソーシャルディスタンスを徹底すると、コミュニケーションによる支えあいができないため、精神的なサポートはどのように行ったらよいか？
- ソーシャルディスタンスを徹底すると、同じ収容スペースにいても、周辺で体調が悪くなった人に気づいてあげられない。特に、高齢者や障害者など、見守りが必要な人に対する、配慮はどのようにしたらよいか？

■ ボランティアの確保

- 地域外からのボランティアに対し、気持ちの良い断り方は？
- 地域内からのボランティアに対しても、感染予防の研修や装備のサポートがないため、受け入れることはできないのではないか？
- 業務内容によっては、在宅ボランティアもあるのではないか？

■ 医療情報の収集

- 避難所でコロナの感染者が出た場合、医療機関との連携方法は？
- 感染症指定医療機関の3割が浸水域にあるという報告もあるが、その場合、医療機関まるごとの避難も考える必要があるのではないか？

■ 医療救護所の設置

- 医療救護所を風通しのよい屋外に設置した場合、雨風が強い時や寒い時期には、どのように密閉空間で感染リスクを抑えたらよいか？
- 感染者が発生した場合、保健所への連絡繋がらないときはどのように対応したらよいか？

■ 情報発信

- 感染者が発生した避難所では、縮小や閉鎖の対応が必要となるが、その情報発信はどのタイミングで実施したらよいか？
- マスコミが自由に避難所に入って感染者の取材をしないように、マスコミの取材を制限する必要がある。

